

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和元年 6 月 3 日

住所 長野県長野市安茂里小市 1-3-31  
企業名 高木建設株式会社  
代表者 代表取締役社長 高木 正雄

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

社は「信頼・貢献・挑戦」のもと、顧客だけでなく地域社会の人々からも信頼される企業となりたい。4S (整理・整頓・清潔・清掃) 活動は、安全・安心・品質確保の基本であり、省エネ・省資源製造の必要条件です。4S を基本として社員一丸となって社業務に対処し、SDGs の達成に貢献していく。

※ 赤字 : 2019 年度入力 青字 : 2020 年度入力

| 3 側面<br>(主な分野に○) | SDGs 達成に向けた重点的な取組                     | 2030 年に向けた指標  | 重点的な取組及び<br>指標の進捗状況<br><small>登録年月日 : 令和元年 7 月 26 日</small>  |
|------------------|---------------------------------------|---|--|
| 環境<br>社会<br>経済   | エコアクション 2.1 の活動に沿って省エネ・省資源、CO2 削減に努める | ・ CO2 排出量の 30%削減<br>(総排出量/売上高)<br>2018 年度 0.000125 t<br>↓<br>2030 年度 0.000087 t | ・ 毎月の排出量を管理し、環境経営活動レポートを HP にて公表する<br>・ 2019 年度 0.000124 t<br>排出量削減となった<br>・ 2020 年度 0.000098 t<br>目標に向けて削減傾向となっている  |
| 環境<br>社会<br>経済   | 耕作放棄地・遊休農地を利用した西山大豆の生産量を増加させる         | ・ 生産量の増加<br>2018 年度 2 t<br>↓<br>2030 年度 5 t                                     | ・ 耕作放棄地・遊休農地を開拓する<br>・ 農業従事社員を増員させる<br>・ 害獣等の対策を行う<br>・ HP にて情報公表する<br>・ 2019 年度 1.48 t<br>鳥獣 (イノシシ) 被害により収穫量が減少した (電柵対策は実施済み)<br>・ 2020 年度 1.29 t<br>播種後の日照りのため減少 |

| 3 側面<br>(主な分野に○)   | SDGs 達成に向けた重点的な取組                                 | 2030 年に向けた指標  | 重点的な取組及び<br>指標の進捗状況<br><small>登録年月日：令和元年 7 月 26 日</small>   |
|--|---|---|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">環境</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">社会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">経済</div> | <p>古茅、木材加工で発生する木くずの廃棄物を堆肥化等へ転換し、地域資源の有効活用を進める</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業廃棄物としての木くず排出量の削減 (リサイクル率の増加)<br/>2018 年度 57.9%<br/>↓<br/>2030 年度 100%</li> <li>・ 有価物排出量の増加<br/>2018 年度 4 t<br/>↓<br/>2030 年度 15 t</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古民家事業受注の拡大</li> <li>・ 利用先の開拓</li> <li>・ 設備 (チップパー) の購入</li> <li>・ HP にて情報公表する</li> <li>・ 木くずのリサイクル率<br/>2019 年度 35.6%<br/>(付着物が多くリサイクル処理できずに低下)<br/>2020 年度 61.0%<br/>(木くず排出量が減少。付着物が少なかったため増加)<br/>2021 年度 59.5%<br/>(前年より若干減少)</li> <li>・ 有価物排出量<br/>2019 年度 2.1 t<br/>茅葺屋根の古茅を、顧客の希望により畑へ堆肥として利用した。<br/>(茅葺物件が少ないと有価物も少なくなるが、引き続き進める)<br/>2020 年度<br/>顧客の希望により畑へ堆肥として利用した。(数量は計測不可)</li> <li>・ ウッドチップパーの購入<br/>枝や小木をチップ化し、畑へ堆肥として入れている</li> <li>・ 道路築造・宅地整備にて発生する支障木は産業廃棄物とせず、薪材、建築資材へ利用している。(数量は計測不可)</li> </ul> |

| 3 側面<br>(主な分野に○)   | SDGs 達成に向けた重点的な取組                     | 2030 年に向けた指標  | 重点的な取組及び<br>指標の進捗状況<br><small>登録年月日：令和元年 7 月 26 日</small>   |
|--|---------------------------------------|---|---|
| 環境<br><input checked="" type="checkbox"/> 社会<br><input checked="" type="checkbox"/> 経済 | 交通安全に努め、交通事故・違反を発生させない。社会にやさしい運転を推進する | <ul style="list-style-type: none"> <li>SD カードの取得率<br/>(運転記録調査証明書)<br/>2018 年度 89.6%<br/>(建設業全国平均 85.3%)<br/>↓<br/>2030 年度 100%</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の社内会議にて指導</li> <li>安全運転の講習会を増やす</li> <li>月間交通安全標語を社員が作成し、意識付けを行う</li> <li>ヤングドライバークラブの活動を増やす</li> <li>新型コロナウイルス感染防止のため、会議や講習会を減らす事態となっているが、一斉メールや社内にポスター掲示等で安全運転を呼び掛けている</li> <li>SD カードの取得率<br/>2019 年度 87.3%<br/>(建設業全国平均 86.6%)</li> <li>計画に沿って (社内会議・安全標語作成・ヤングドライバー) 活動を行えた。</li> <li>SD カードの取得率<br/>2020 年度 92.3%<br/>(建設業全国平均 87.1%)</li> </ul> |

【記載留意点】

- 上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第 3 号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件 2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- 指標は、原則として数値目標を記載してください。
- 「環境」、「社会」、「経済」の 3 側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- 重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- 重点的な取組及び指標の進捗状況については、年 1 回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。